

資料

群馬県におけるキバラハキリバチ（ハチ目：ハキリバチ科）の記録

金杉隆雄

群馬県立ぐんま昆虫の森：〒376-0132 群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷460-1
(kanasugi-t@pref.gunma.lg.jp)

キーワード：キバラハキリバチ，前橋市，初記録

Record of *Megachile (Amegachile) xanthothrix* Yasumatsu et Hirashima, 1964 in
Gunma Prefecture (Hymenoptera: Megachilidae)

KANASUGI Takao

Gunma Insect World: 460-1 Tsurugaya, Niisato cho, Kiryu, Gunma 376-0132, Japan
(kanasugi-t@pref.gunma.lg.jp)

Key Words: *Megachile xanthothrix*, Maebashi City, new record

はじめに

キバラハキリバチ *Megachile (Amegachile) xanthothrix* Yasumatsu et Hirashima, 1964 は、ハキリバチ科に属するハチの一種であり、国内では本州、四国、九州、屋久島、種子島に分布しており、7月～8月に発生し、訪花植物としてクズやハマナタマメ、ゴマが知られている（長瀬，2014）。また、環境省レッドリスト2020では準絶滅危惧とされている（環境省，2020）。

長瀬（2014）では本州中部以南に分布するとされていたが、近年、東京都（斉藤，2015）、神奈川県（渡辺，2017）、宮城県（郷右近・前田，2020）などから記録されており、北

方へ分布域が拡大しているとみられ、温暖化の影響も示唆されている。

今回、キバラハキリバチが群馬県前橋市で採集され、北関東では初確認と考えられるので報告する。尚、当該標本は群馬県立ぐんま昆虫の森で保管しており、採集記録の後にある記号はぐんま昆虫の森における標本登録番号である。

採集記録

群馬県前橋市下佐鳥町，1♀，16-VIII-2021，高橋 円 採集：
Hym-001471（図1）



図1. キバラハキリバチ♀



図2. キバラハキリバチが確認された周辺の環境 (2021年11月撮影)

本種は比較的稀種で海浜の砂浜で採集されることが多い(郷右近・前田, 2020)とされ, 今回のように内陸部での記録は稀であると考えられる。採集された場所は, 周囲に工場や倉庫, 田畑などが広がる中規模の河川沿いであり, 河川はコンクリート護岸となっている(図2)。河川沿いには本種の訪花植物であるクズなどの生える緑地もみられるが, 生物の生息環境としては好適な環境とは言えず, 本種の営巣等も確認されていない。

謝辞

標本を提供していただいた高橋 円 氏, 文献の入手でお世話になった神奈川県立生命の星・地球博物館の渡辺恭平博士, 埼玉県における本種の確認状況を教えていただいた埼玉県立自然の博物館の半田宏伸氏に御礼申し上げます。

引用文献

- 郷右近勝夫・前田泰生(2020): キバラハキリバチの宮城県と島根県からの採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (23): 281-282.
- 環境省(2020): レッドリスト2020. [<https://www.env.go.jp/press/files/jp/114457.pdf>] (閲覧日2021年11月11日)
- 長瀬博彦(2014): キバラハキリバチ. 多田内修・村瀬竜起(編)日本産ハナバチ図鑑, 文一総合出版, p. 302.
- 斉藤洋一(2015): 東京都本土部でキバラハキリバチを採集. 神奈川虫報, (185): 88.
- 渡辺恭平(2017): 小田原市でキバラハキリバチを採集. 神奈川虫報, (193): 100.